

第26号

韮山高校野球部年報
OB会報

龍城球児



令和四年度を振り返って

令和四年も、まだまだコロナ感染症の影響があり、選手、監督ともに思い通りの練習をすることができず苦労されたと思います。

そんな中、春季東部大会では初戦で善戦むなしく、富士高校に敗れてしまい、また、夏の大会では、一回戦で磐田南を破り、二回戦では小笠に惜しくも敗れてしまいました。三年生を含めた選手たちは力強く戦ってくれ、私もOBやサポーターへ多くの元気を与えてくれたと感じました。

新チームで臨んだ秋季大会では二年連続の県大会出場を果たし、県大会では強豪静岡に惜敗しましたが選手みんなの成長を見ることができました。

秋以降、三村杯で優勝するなどチームの実力が充実し始めており、この春から夏にかけての活躍を期待するばかりです。OB会員及び韮山高校野球部を愛する皆様におかれましては今年も「龍城球児」への熱いご支援を賜りたく、宜しくお願ひ申し上げます。

令和五年三月
韮山高校野球部OB会事務局

龍城球児サポーターズクラブのご案内 (静岡県立韮山高等学校野球部を支援する有志の会)

OB会員皆様のお知り合いで、趣旨をご理解いただいで共に楽しく活動して下さる多くの仲間を募集しております。入会のお問合せはOB会事務局又は下記までお願いします。

龍城球児サポーターズクラブ 入会金:2,000円 年会費:3,000円

会長:秋津 温(元韮高野球部長・教頭)

TEL:055-972-9089 E-Mail:aki-ae@wa3.so-net.ne.jp



OB会情報

2021～22年度OB会事業報告(2021年8月1日～2022年7月31日)

1. 活動状況(主な行事)

- ・龍城球児サポーターズクラブ総会(主催サポーターズクラブ)中止
- ・令和2年度OB総会中止
- ・2022年4月1日 野球部年報・OB会報「龍城球児」第24号発行
- ・2022年2月28日 卒業生OB会入会式
- ・新入部員父母会歓迎会(父母会主催)中止
- ・2022年6月25日 夏の県大会背番号授与式
- ・その他活動:HP全面改訂、公式戦実況、メールマガジン・龍城球児配布他

2. 会員数及び会費納入状況(2022年7月31日現在)

名簿搭載 910名(うち所在不明・永眠者269名 除く2022年度卒業生3名)

実質会員 638名

会費納入 本年度分 314名 1,117千円 過年度6名分含む

収入の部	金額	摘要	支出の部	金額	摘要
前期繰越金	1,137		部活動援助等	693	バット10本試合球1D キャッチャーセット他
年会費	1,104	314名	会報発行	69	デンシ印刷500部
雑収入	81	グッズ販売	卒業生入会式	9	
			慶弔費・他	32	香典等
預金利息	0		寄付金	0	
			会議費	0	父母会等
			通信費	60	別納郵便等
			事務費	114	印刷 コピー封筒等
			HP関係費	22	
			HP制作費	671	
			雑費	0	手数料
			次期繰越金	652	
合計	2,322		合計	2,322	

※単位:千円 送金料は各費目を含む

収支決算報告書

(令和三年八月一日～令和四年七月三十一日)

日付	先攻	後攻	勝敗	先攻	後攻	勝敗	場所
3月12日	韮山 12	- 4 伊豆中央	○	伊豆中央 13	- 6 韮山	●	韮山G
3月13日	島田商業 11	- 4 韮山	●	韮山 4	- 7 島田商業	●	島商G
3月19日	韮山 10	- 2 浜松大平台	○	浜松大平台 3	- 11 韮山	○	韮山G
3月21日	静岡大成 1	- 4 韮山	○	韮山 8	- 9x 静岡大成	●	韮山G
3月26日	韮山 4	- 5 富士	●	第69回春季静岡県東部大会1回戦			愛鷹球場
4月3日	沼津工業 11	- 8 韮山	●	韮山 5	- 5 沼津工業	△	韮山G
4月9日	韮山 8	- 0 田方農業	○	田方農業 4	- 23 韮山	○	韮山G
4月10日	静岡東 4	- 1 韮山	●	韮山 1	- 11 静岡東	●	静岡東G
4月16日	遠江総合 10	- 8 韮山	●	韮山 10	- 7 遠江総合	○	遠江総合G
4月23日	韮山 19	- 2 浜松東	○	韮山 19	- 2 浜松東	○	浜松東G
4月24日	焼津水産 2	- 6 韮山	○	韮山 9	- 2 焼津水産	○	焼津水産G
4月29日	袋井商業 4	- 3 韮山	●	韮山 0	- 2 袋井商業	●	袋井商業G
5月3日	桐陽 5	- 1 韮山	●	韮山 8	- 13 桐陽	●	裾野球場
5月4日	韮山 5	- 1 星陵	○	星陵 3	- 5 韮山	○	星陵G
5月7日	御殿場南 3	- 7 韮山	○	韮山 4	- 8 御殿場南	●	韮山G
5月8日	浜北西 5	- 11 韮山	○	韮山 8	- 8 浜北西	△	浜北西G
5月15日	小山 3	- 9 韮山	○	龍城祭招待試合			韮山G
5月22日	四日市 1	- 6 韮山	○	韮山 9	- 5 四日市	○	韮山G
5月28日	韮山 20	- 5 富士東	○	富士東 13	- 21 韮山	○	富士東G
5月29日	下田 2	- 3x 韮山	○	韮山 5	- 2 下田	○	韮山G
6月4日	三島南 9	- 2 韮山	●				三島南G
6月5日	韮山 6	- 0 藤枝東	○	藤枝東 7	- 8x 韮山	○	韮山G
6月11日	韮山 6	- 7x 田方農業	●	田方大会			韮山球場
6月12日	韮山 11	- 3 磐田南	○	韮山 7	- 0 沼津商業	○	沼津商業G
6月19日	山梨 0	- 3 韮山	○	韮山 11	- 4 山梨	○	韮山G
6月25日	韮山 4	- 3 誠恵	●	誠恵 2	- 0 韮山	●	韮山G
6月26日	韮山 1	- 3 三島北	●	三島北 10	- 4 韮山	●	韮山G
7月2日	浜松市立 10	- 2 韮山	●	韮山 12	- 8 浜松市立	○	半田山G

第103回全国高校野球選手権静岡大会

7月11日 1回戦 草薙球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
韮山	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
磐田南	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

7月17日 2回戦 清水庵原球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
韮山	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
小笠	0	0	0	0	0	0	2	0	x	2



「信頼」

主将 若林 竜ノ介

私は韮山高校野球部の一員、主将として活動し、信頼というものの価値や重要さを学びました。信頼とは、ある人を高く評価し、すべてを任せられるという気持ちを持つことです。そこには様々な要素が必要になってきます。例えば、よく考え、すぐ行動に移すなどといったことのように。

私たちは、二〇二〇年に入学しました。それは、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっていた時期で、入学早々から休校という特異な状況下でありました。マスクの着用が一般化するということの影響があり、高校野球界でも夏の選手権大会が中止となり、代替大会となりました。先輩方はそのような中でも一球に対して一生懸命にプレーしており、仲間との信頼を私に強く感じさせてくれました。翌年、新型コロナウイルスは一時収束傾向を見せ、夏の選手権大会が開催されました。三年生は三人という状況でしたが、強い信頼があることを感じました。

そして私たちが最上級生となり、私が主将となりました。伝統ある韮山高校野球部の大役を任せられたのです。

私は先輩方のような信頼を持ったチームにするために、自分自身もまず信頼されようと努力しました。また、主将としてOB会の方や保護者の方、地域の方など多くの方々と接し、いかに自分が多くの支えがあつて野球や日常生活を送れているかということに改めて感じました。多くの方々の御支援には感謝の一言しかありません。

ありがとうございます。

韮山高校野球部の活動を通して仲間へ信頼される喜び、仲間を信頼する喜びといったものを学びました。信頼というものは人間が生きていく中で必要不可欠なものです。ここから経験した多くのことをこれから的人生につなげようと思います。本当に価値のある三年間でした。

氏名	守備位置	出身中学	氏名	守備位置	出身中学
大橋優太	外野手	三島北	中村禪	内野手	大仁
小川琉ノ介	外野手	沼津第五	日向淳人	外野手	大仁
加藤大誠	投手	裾野	福田秀瑛	捕手	中郷
増田堅	内野手	中郷西	若林竜ノ介	内野手	中伊豆
松久保成真	内野手	長泉	渡邊佑斗	外野手	三島南
北村涼	マネージャー	裾野			

BASEBALL

高校75回卒業生

特集

令和四年度の総括

監督 武井 淳

本年度もOB会をはじめ、多くの関係の方々の御支援と御協力により野球部の活動が運営できましたことに感謝申し上げます。

今年度は、入学時から新型コロナウイルス感染症の影響を受け続けた学年の集大成の年となりました。三年生は入学早々に休校を余儀なくされ、活動再開後も感染症対策に振り回され続けました。それでも夏の選手権大会では緊迫する接戦を繰り広げることができました。同じ一点差のスコアでも一・二回戦では歓喜と落胆の対照的な結果となりましたが、困難な状況下でも成長し続けてきた三年生の躍動する姿がありました。野球を通して大きく成長した三年生は個々の進路実現も叶えてくれるものと信じています。

新チームは、三年生とともに経験を積んだ二年生に一年生の新戦力が融合し、秋季県大会出場を果たしました。東部大会中はコロナの影響を受け、主力選手が不在という状況もありましたが、公式戦初先発の選手たちが見事に活躍して勝ち抜くことができました。

新チーム紹介

勝利に向けて

主将 星谷 奎斗

いつも私たち韭高野球部を支えていただき本当にありがとうございます。私たちは新チームの始動時にテーマとして「スピード」を掲げました。投げるボールや走るスピードを上げることが勿論、練習時のメニュー間や試合の攻守交代の時間をつめるなど、様々なスピードをアップすることで、能力の向上とともに自分たちのリズムで試合を運ぶことを目標にしました。

また、これまでの先輩方が取り組んできた頭脳野球も継承しています。試合ではデータ係を中心に一人一人が相手の心理状況を考え、技術に勝る相手であっても駆け引きの面で優位に立ち勝負することを目指しています。

これらをチームの共通意識として常に活動するとともに、個としても明確な目的や目標を持ってレギュラー争い、ポジション争いに切磋琢磨しています。選手権大会に向けてチーム力を何倍にも引き上げ高みを目指します。今後とも温かい応援をよろしくお願い致します。

	氏名	守備位置	出身中学	氏名	守備位置	出身中学
新3年生	飯田蒼汰	内野手	伊東南	鈴木陸太	外野手	錦田
	井原泰造	内野手	韭山	高橋俊介	外野手	三島南
	金崎駿英	内野手	三島南	辻村悠之介	投手	韭山
	塩谷天聖	投手	大仁	中濱天恋	内野手	長泉北
	清水郁弥	内野手	大岡	林康太	投手	錦田
	菅沼晃太	外野手	伊東南	原大輔	投手	中郷
	杉浦宏明	内野手	門池	星谷奎斗	投手	錦田
	鈴木陽也	外野手	清水	増田雅治	外野手	修善寺
	鈴木太智	外野手	三島北	松村悠斗	外野手	長泉
	鈴木晴喜	外野手	韭山			
新2年生	大泉聖愛	マネージャー	韭山	山崎日菜	マネージャー	大仁
	小川勝也	捕手	対島	堀圭汰	内野手	長泉
	富田甲太郎	投手	御殿場	山下圭一郎	捕手	中郷西
	古川一樹	投手	中郷西	加納花夏	マネージャー	函南東



令和5年1月4日に韭山球場にて、慶應大学堀井監督(32回)による特別指導がありました。挟殺プレイと走塁・リードの取り方などを練習しました。

令和四年度を振り返って

野球部長 白石 隆

県大会では敗戦したものの、豪私立と中盤までは互角に渡り合い、さらに秋季県大会ベスト4の知徳や同東海大会ベスト4の加藤学園とも戦えたことは選手たちにとって大きな経験になるとも、課題はあるものの自分たちにもやれるという自信に繋がりました。

オフシーズンの練習では例年以上に手ごたえを感じています。これまでに取り組んできた食トレに加え、昨年度から導入したジムトレ、恒例になっていく浜トレなどによって心も体も何倍にも成長しています。また、新三年生は選手十九名と人数が多く、メンバー争いも激化しています。

最後に、純粹に野球に向き合い、野球を通して人間的に大きく成長した選手たちをグラウンドで応援していただけると幸いです。これからも韭山高校野球部の歴史と伝統を繋いでいけるよう精進して参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

日頃より、OB会の皆様におかれましては本校野球部の活動に多大なる御支援、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度に引き続き、本年度も部長をやらせていただいている白石隆です。野球に関しては全くの素人ですが、よろしく願います。

さて、今年度ですが、主将の若林君を中心に夏の大会に臨みました。初戦の磐城南戦は5回裏に先制されたものの、7回表に逆転。2年連続で1回戦突破をつかみ取りました。決勝打を放ったのが1年生の小川君であったので、今後が楽しみです。2回戦の小笠高校戦は、3回表に先制点を挙げましたが、7回裏に本校のエラーから逆転を許しました。しかし9回表に満塁となりました。しかし9回表に満塁となりました。しかし9回表に満塁となりました。

新体制はエースの星谷君が主将、鈴木陸太・高橋・中濱・井原副主将を中心としてスタートしま

した。秋季大会では東部大会を勝ち抜き、県大会初戦の静清高校と対戦しました。序盤は想定内の試合展開で優位に試合を進めたが、中盤にフォアボールやエラーをきっかけに相手に流れを渡してしまい、負けてしまいました。

三村杯争奪野球大会では、予選を順当に勝ち進み決勝戦は明星山球場で桐陽高校と対戦しました。9回では試合が決まらず、延長13回タイブレーク方式になりました。先攻の本校が3点を挙げたものの、その裏に逆転されて準優勝に終わり非常に悔しい思いをしました。しかし、この悔しさから自分たちの現状を認識し、次への足掛かりになったと思われま

す。来年度の春に向けて、武井先生のご指導や、選手たちでミーティングを重ね、創意工夫のある練習に取り組んでいます。現在は、チームや個人のレベルアップのために、冬の厳しいトレーニングに取り組んでおり、春の大会が待ち遠しい状況です。今後とも指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



背番号授与式

令和4年6月26日に葦高グラウンドにて夏の大会に向けた背番号授与式が行われました。
OB会から激励の挨拶と用具等の贈呈を行いました。

OB会総会開催

令和4年11月19日にレストランじゅんにて、OB会総会が3年ぶりに開催されました。今回幹事は高36回で、コロナ対応として参加人数を制限しての開催でした。

大川会長、豊岡顧問の挨拶、会計報告等の総会の後、長澤顧問の乾杯で懇親会が始まりました。久しぶりの会合で盛り上がりました。

高36回菊池さんのエールから校歌を斉唱しお開きとなりました。
次回幹事は高37回の予定です。



OB会ホームページ改訂

OB会のホームページがサポーターズクラブ、父母会と連携して「龍城球児サポーターズ」としてリニューアルしました。

<https://nirako-bbob.com/>

2022～23年度OB会事業計画(2022年8月1日～2023年7月31日)

事業計画

- (1) 野球部活動への支援: 用具等の購入、コーチ派遣等
- (2) 野球部年報・OB会報「龍城球児」第26号の発行
- (3) 「龍城球児サポーターズクラブ」のサポートと父母会との連携強化
- (4) 改訂ホームページのコンテンツ充実と役割分担

2022年秋季戦績

日付	先攻	後攻	勝敗	先攻	後攻	勝敗	場所
7月23日	葦山 1	- 13 静岡市立	●	静岡市立 4	- 8 葦山	○	葦山G
7月31日	葦山 1	- 4 島田商業	●	島田商業 8	- 1 葦山	●	島田商業G
8月1日	葦山 6	- 0 科学技術	●	科学技術 8	- 12 葦山	○	草薙球場
8月6日	葦山 10	- 2 焼津水産	○	焼津水産 1	- 8 葦山	○	葦山G
8月9日	葦山 17	- 1 静岡西	○	静岡西 8	- 33 葦山	○	静岡西G
8月11日	葦山 21	- 1 旭丘	○	旭丘 8	- 10 葦山	○	南足柄球場
8月14日	磐田農業 6	- 4 葦山	●	磐田北・佐久間 8	- 9 葦山	○	磐田農業G
8月16日	清水東 3	- 4 葦山	○	葦山 7	- 11 清水東	●	葦山G
8月21日	富岳館 0	- 3 葦山	○	第75回秋季地区予選大会1回戦			裾野球場
8月24日	富士宮北 6	- 16 葦山	○	第75回秋季地区予選大会2回戦			富士球場
8月28日	葦山 0	- 7 加藤学園	●	第75回秋季地区予選大会上位校決定戦			愛鷹球場
9月3日	下田 4	- 1 葦山	●	葦山 15	- 1 下田	○	葦山G
9月10日	葦山 9x	- 2 静清	●	第75回秋季静岡県大会1回戦			清水庵原球場
9月11日	葦山 13	- 4 御殿場南	○	御殿場南 16	- 2 葦山	●	葦山G
9月17日	浜北西 5	- 8 葦山	○	葦山 7	- 1 浜北西	○	浜北西G
9月25日	葦山 8	- 1 沼津城北	○	葦山 8	- 1 沼津城北	○	城北G
9月25日	沼津城北 2	- 17 葦山	○	沼津城北 2	- 17 葦山	○	城北G
10月8日	浜松日体 13	- 11 葦山	●	葦山 6	- 8 浜松日体	●	日体G
10月9日	葦山 18	- 0 静岡農業	○	静岡農業 4	- 12 葦山	○	静農G
10月15日	葦山 16	- 0 浜松大平台	○	浜松大平台 6	- 11 葦山	○	葦山G
10月16日	葦山 6	- 11 知徳	●	知徳 5	- 6x 葦山	○	葦山G
10月23日	伊豆総合 12	- 13 葦山	○	葦山 7	- 2 三島南	○	葦山G
10月23日	三島南 16	- 9 葦山	●				
10月30日	葦山 0	- 2 浜松北	●	浜松北 6	- 8 葦山	○	浜松北G
11月3日	三島北 8	- 8 葦山	△	葦山 13	- 7 三島北	○	葦山G
11月6日	葦山 10	- 0 富士東	○	吉原・吉原工業 0	- 3 葦山	○	吉原工業G
11月12日	沼津市立 7	- 8x 葦山	○	葦山 10	- 11 沼津市立	●	沼津市立G
11月13日	清流館 1	- 11x 葦山	○	葦山 10	- 0 榛原	○	富士宮西G
11月19日	葦山 8	- 4 桐陽	○				葦山G
11月20日	葦山 11	- 12x 桐陽	●				明星山球場



甲子園、全国制覇を目指して毎日の練習に取組んでいる選手諸君、その一生懸命にボールを追う姿は見ていてるものに感動を与えます。私の同級生はどんな思いで練習に取組んでいたのでしょうか。高校時代の成果は必ずしも満足のいくものではなかったかもしれませんが、しかしながら、卒業後の彼らの活躍に、野球とは無縁だった私も、大いに勇気づけられ、神宮にもしばしば通いました。

現役、そして未来の葦高野球部の選手諸君、現在の皆さんの頑張りが、必ず将来の夢の実現につながると信じましょう。自分たちが実現できなくても、後輩が皆さんの頑張りを引き継いでくれます。そして、多くの同窓生が皆さんを支えてくれます。葦高のグラウンドで精進する機会は二度と戻ってきません。決して長くはない時間ですが、皆さんの人生においては、かけがいのない濃密な時間となることでしょう。今この時を大切に。目標達成に向け、最大限の努力を継続してください。

副部長 菊地正博